

授業改善アンケート

学生評価アンケートを活用した教育方法の改善(よい効果の得られた例)

2019.3.30

授業形態	対象学年	内容
講義	1	本科目は2単位（15回）から8回となり、変更後2年目となった。昨年とほぼ同じ内容で教科書に沿って、細胞、DNAからタンパク質、代謝、細胞間情報伝達、分化・発生、増殖に関し計画通りに講義を行った。高校において生物を選択していない等の理由で高校生物を十分に理解していない学生でも生物系専門科目の履修に支障が生じないように講義を行っている。 1) 講義の開始時には、前回の講義内容に基づき小テストを毎回行っている。学生にとっては、自分の理解度が確認でき正確に覚えていない点を再度覚えなすことに繋がっている。講義では教科書に記載していない内容で、科学的に重要な知見や生化学・生理学・薬理学等の科目にどのように繋がっているのかも教えており、本学に入ってから生物に興味を抱いてくれる学生も現れた。授業の終了時には質問タイムを設けており、とても喜ばれている。オフィスアワー以外にも質問受付を行っているが、どちらかというと講義直後の方が喜ばれている。 2) 定期試験後に問題の解説をしてほしいとの希望があった。そこで補講を開催し、出題に関する講義内容を復習した。また、間違えやすいパターンについても解説した結果、再試験での合格に繋がった。尚、丸暗記を避けるため敢えて試験問題と解答そのものの解説は行わなかった。 ノートの取り方が分からないので教えて欲しいとの希望があった。そこで、私自身のノートや過去の学生の中で分かりやすいノートをモデルノートとして、説明した。講義の内容の纏め方が分からない学生と問題点について話し合っていると、高校までノートを作ったことがないとの事であった。そこで、まずはスマホを閲覧する
講義	1	高校で物理を学習していない学生、苦手意識を持つ学生に物理の内容を理解させるために、以下の工夫をした。 ・まず何を勉強すればよいかを解説する。薬学との関連を随時紹介するとともに、基本的な事項をまとめた自作プリントを活用した。 ・目で見えて理解できるように、動画や映像をできる限り取り入れた。 ・学生によるアンケート結果に基づき、問題演習を積極的に取り入れて、理解を助けるようにした。限られた講義時間内に演習までを消化するのは難しい部分もあるが、問題演習によって講義内容を復習し、確実に身に着けさせる方法については、以後の学生からも評価された。
講義	2	基礎生物学と連携して、昨年とほぼ同じ内容で教科書に沿って、コアカリに準拠した内容で講義を行った。 1) 講義の開始時には、前回の講義内容に基づき小テストを毎回行っている。学生にとっては、自分の理解度が確認でき正確に覚えていない点を再度覚えなすことに繋がっている。講義では教科書に記載していない内容で、科学的に重要な知見や生化学・薬理学等の科目にどのように繋がっているのかも教えており、本学に入ってから生理学に興味を抱いてくれる学生も現れた。授業の終了時には質問タイムを設けており、とても喜ばれている。オフィスアワー以外にも質問受付を行っているが、どちらかというと講義直後の方が喜ばれている。 2) 定期試験後に問題の解説をしてほしいとの希望があった。そこで補講を開催し、出題に関する講義内容を復習した。また、間違えやすいパターンについても解説した結果、再試験での合格に繋がった。尚、丸暗記を避けるため敢えて試験問題と解答そのものの解説は行わなかった。 基礎生物学で生物系科目のノートの取り方を徹底的に教えたので、再試験受験者および再履修者にはノート提出を義務付け、講義内容の整理を促した。
講義	2	・目に見えない微生物を対象としているため、スライドに写真などを用いている。学生のアンケートにおいてもイメージして覚えやすくなったと意見があった。 ・2年生前期であるため、一部分ではあるが、レジメに大切な事項を括弧抜きにしてまとめている。 学生は講義を聴きながら括弧部分を埋める作業も行っている。このため、重要な部分を誤りなく把握するとともに、書くことにより自然と知識を整理できている。 また、括弧を埋める部分を聞き逃さないように講義を聴いていることで、3限ではあるがこうぎに集中できていると思われる。